

# 「第8回黒野ラジオ体操会」開催！

500余名の参加、元気にラジオ体操



## 黒野

第 19 号

発行 黒野まちづくり協議会

題字 戸崎浩志  
(黒野会館書道クラブ講師)

「友達と会って話せるのが嬉しいし、良い生活リズムになるからやって良かった」と、娘も言っていました。ラジオ体操第二まで

私は小学生の頃を思い返してみると、夏休みは毎朝ラジオ体操へ行き、午後は学校のプールへ行くという生活だったと記憶しています。ラジオ体操の後、近くのお寺でお経を教えて頂く期間もありました。

今はそういった機会も減り、特にコロナ禍以降は色々と廃止・縮小されていますが、黒野の子ども会では七割以上がラジオ体操を実施しています。始まる前は「朝早くてちよっと面倒くさいなあ」なんて思いましたが、ほとんどの子どもが参加してくれました。早く寝ようという意識にもなり、早起きして規則正しい生活ができたと思います。



## 続けようラジオ体操

子ども会育成委員会 委員長 矢野 愛

真剣にやってみると、けっこう体を動かしますよね。朝から体を動かすと、心身共にスッキリします。普段、あまり会わない地域の方とも挨拶を交わすと気持ちが良いです。地域のつながりを深めるためにも、今後もこのラジオ体操が続いていくと良いなあと思っています。





完成待たれる(仮称)岐阜インターチェンジ

### (仮称)岐阜インターチェンジ周辺の整備促進に関する署名活動

## 15,756筆 柴橋岐阜市長に提出!

去る6月27日、柴橋岐阜市長への要望活動(陳情)を行いました。出席者は西垣薫黒野自治会連合会長はじめ、西郷、方県、常磐、木田の各自治会連合会長の5名です。岐阜市側は市長、及び関係部局の部・課長十数名で対応して頂きました。

冒頭、西垣会長より要望書が読み上げられ、ダンボール二箱分の署名を市長に提出いたしました。その後、5名の連合会長と市側との懇談が持たれました。それぞれの連合会長より、地域の実態と要望が訴えられると共に、インターチェンジ周辺の整備促進の意義と必要性について意見交換が行われました。柴橋岐阜市長には「周辺のまちづくりに皆さんと連携していきたい」と応えて頂きました。



### 「インターチェンジ周辺まちづくり整備部会」の活動

令和2年に「黒野まちづくり協議会」の特別委員会として「インターチェンジ周辺まちづくり整備部会」が発足。構成は自治会連合会の役員、関係自治会長、及び関係地区の代表者など約20名です。会設立の趣旨は文字通り、インターチェンジの建設に伴い周辺のまちづくりをどう進めるかを話し合い、岐阜市や県に提言していこうとするものです。

定期的に会合を重ね、岐阜市の総合政策課など関係部局から現状説明を受けたり、意見交換を行ったりしてきました。また、地元の声を積極的に発信しようとする趣旨から、一帯の具体的なまちづくりプランを岐阜市に提案してきました。

今回の署名活動は「インターチェンジ周辺まちづくり整備部会」の活動の一環として地域住民の声を岐阜市に届けようとしたものです。黒野、西郷、方県、常磐の四地区が中心となり、近隣の鷺山、七郷、木田の自治会にも協力を得ることができました。

地域の皆様、この度は多くの方に署名の協力を頂き誠に有り難うございました。今後も岐阜市との連携を一層深め、要望が具体化されるよう活動を継続してまいります。

尚、平野県議、黒田・大塚市議には相談役に就いて頂いております。県政、市政の情報提供や議会での後押し、方向性の示唆などご尽力を頂いております。